

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-157988

(43)Date of publication of application : 29.05.1992

(51)Int.Cl.

H04N 1/32

H04M 11/00

H04N 1/00

(21)Application number : 02-284791

(71)Applicant : MURATA MACH LTD

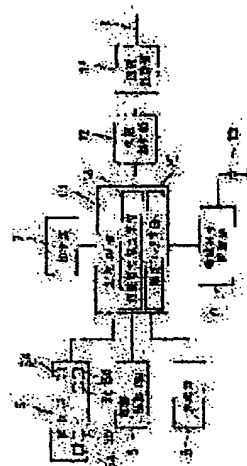
(22)Date of filing : 22.10.1990

(72)Inventor : YOSHIDA AKIHIRO

(54) FACSIMILE EQUIPMENT**(57)Abstract:**

PURPOSE: To prevent erroneous transmission and unnecessary use of the copy function by locking all functions except the reception function to the unoperable state and inputting a password number and unlocking them at the time of coincidence between this number and a registered number.

CONSTITUTION: A facsimile equipment is set to the register mode, and the password number is registered in a password number storage part 9 by ten keys 5a. Then, all functions such as the transmission function and the copy function except the reception function are set to the lock state. The equipment is set to the input mode, and a password number is inputted with keys 5a. When this number coincides with the registered number, functions are unlocked, and the transmission function and the copy function can be operated. Thus, a prepared recording form is prevented from being unnecessarily used, and the transmission destination is prevented from being troubled by mischief, and transmission of erroneous information is prevented.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報(A) 平4-157968

⑫ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)5月21

H 04 N 1/32
H 04 M 11/00
H 04 N 1/00

3 0 3
1 0 6

C

Z

2109-5C
7117-5K
7170-5C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 ファクシミリ装置

⑮ 特 願 平2-284791

⑯ 出 願 平2(1990)10月22日

⑰ 発 明 者 吉 田 明 弘 京都府京都市伏見区竹田向代町136番地 村田機械株式
社本社工場内

⑱ 出 願 人 村田機械株式会社 京都府京都市南区吉祥院南落合町3番地

⑲ 代 理 人 弁理士 野田 雅士

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリ装置

2. 特許請求の範囲

任意の暗証番号を登録する暗証番号記憶手段と、任意の暗証番号を入力するための暗証番号入力手段と、この手段によって入力された暗証番号と登録済みの暗証番号とを照合する暗証番号照合手段と、少なくとも受信機能を除く他の機能の全部または一部を動作不能のロック状態に設定し、前記暗証番号照合手段によって照合される2つの暗証番号が一致した場合に限る、前記ロック状態を解除する動作ロック手段とを備えたファクシミリ装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、家庭用等のファクシミリ装置に関するものである。

を相手先に送信したり、相手先から送られてくる画像データを受信して印字出力する本来の送受信機能の他に、複写機能などのいくつかの付加機能を備えているのが通例である。

上記付加機能のうち、例えば複写機能は、ファクシミリ装置本体の原稿挿入部に差し込んだ原稿を原稿読取り部で読み取り、読み取った画像データを印字部で搬送付けの記録用紙にプリントして出力するものであり、スタートキーを押すだけの簡単な操作で動作させることができる。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところで、近年のように家庭にまでファクシミリ装置が普及するようになると、小さい子供がいる家庭などでは、ファクシミリ装置が子供の嬉しのおもちゃにされてしまうおそれがある。上述のように、従来のファクシミリ装置の場合、複写機能などはスタートキーを押すだけで動作するので、特に気をく子供に扱われてしまうことになる。

特開平 4-15791

なって初めて記録可能なくなっていることに気付くといった事象も生じられない。

また、ワンタッチダイヤルキーを備えたファクシミリ装置では、送信も簡単にでき、事故によって送信機に過電をかけた、誤った情報を伝えたなどの恐れがある。

この発明の目的は、受信機能など動作状態に置いておく必要のある機能を除く他の機能の全部または一部を、家庭の子供などの操作によって動作しないようにロックできるファクシミリ装置を提供することである。

〔問題を解決するための手段〕

この発明の構成を実施例に対応する第1図と共に説明する。

このファクシミリ装置は、動作ロック手段(15)を設け、暗証番号の照合によってそのロックを解除するようにしたものである。

すなわち、任意の暗証番号を登録する暗証番号記憶手段(9)と、任意の暗証番号を入力するための暗証番号入力手段(13)と、この手段(3a)によ

て入力された暗証番号と登録済みの暗証番号を照合する暗証番号照合手段(14)とを設ける。

ロック手段(15)は、少なくとも受信機能を除く他の機能の全部または一部を動作不能のロック状態に設定するものであり、暗証番号照合手段(14)の照合の結果、暗証番号が一致した場合に限り、ロック状態を解除するものとする。

〔作用〕

この構成によると、暗証番号記憶手段(9)に登録されている暗証番号と同じ暗証番号が暗証番号入力手段(13)によって入力されない限り、少なくとも受信機能を除く予め定められた他の機能の全部または一部は動作ロック手段(15)によって動作不能の状態にロックされる。登録済みの暗証番号が暗証番号入力手段(13)によって入力されると、ロックされていた機能は解除され動作可能となる。

〔実施例〕

この発明の一実施例を第1図ないし第3図に基づいて説明する。

第1図はこの実施例のファクシミリ装置の電気

3

的構成を示すブロック図であり、第2図はそのファクシミリ装置本体1の外觀斜視図である。

第1図において、操作部5は各種の指令を入力するための機能部であり、電話番号などを入力するテンキー5a、送信その他の動作の開始を指示するスタートキー5bなど、従来のファクシミリ装置にみられるキーのほかに、暗証番号を登録するためのモードを設定する登録モード設定キー5cと、暗証番号を入力するためのモードを設定する入力モード設定キー5dとを備えている。この場合、上記テンキー5aは、登録モード時および入力モード時に暗証番号を入力するための入力キーも兼ねる。

さらに、上記操作部5には、検索する暗証番号記憶部8に暗証番号が登録されてその機能のロック状態に設定されていることを点灯表示する表示ランプ5eも設けられている。この表示ランプ5eは、例えばLEDによって構成される。

4

出部3から送出される原稿を読み取るための機能部であり、撮光部、反射鏡、CCDイメージセンサなどによって構成されている。

印字部7は、受信した原稿データを記録紙にプリントして、第2図に示すファクシミリ装置本体1の記録紙排出部4へ送り出す機能のほかに、複写機能の動作時には、第2図に示す原稿挿入部2から挿入された原稿紙を紙取り部6で読み取られた原稿の図像データを上記記録紙にプリントして、同じく第2図の記録紙排出部4へ送り出す機能も備えた機能部である。

表示部8は、送受信時の相手先電話番号や送信エラーその他の内容を表示する機能を持つ機能部であり、液晶パネル等によって構成されている。

暗証番号記憶部9は、上記した登録モード時に操作部5のテンキー5aを操作することによって入力される暗証番号を登録しておくためのメモリであり、RAMによって構成されている。なお、

特開平 4-157966

を保つようにバッテリ１０によってバックアップされている。

主制御部１１は、前記各機能部の制御や送受信制御などを行うための制御部であって、ＣＰＵやＲＯＭ、ＲＡＭ等によって構成されており、ＲＯＭには上記各制御に必要な制御プログラムや各種データが書き込まれている。

主制御部１１には、上述した入力モード時に入力される暗証番号と前記暗証番号記憶部５に登録済みの暗証番号を照合して、これらの暗証番号が一致しているか否かを判定する暗証番号照合手段１４と、暗証番号が一致しない限り受信機能を除く他の機能、例えば送信機能や複写機能を動作不能のロック状態に設定する動作ロック手段１５とが設けられており、さらに上述した登録モード時に登録済みの暗証番号が再び入力されたとき、暗証番号の登録を解除する登録解除手段としての機能とが与えられている。

送信制御部１２は、主制御部１１からの送付データを電話回線４を通じて相手先に送信するため

に受信し、また電話回線４を通じて受信した受信データを復調するモデムなどによって構成されている。

図解制御部１３は、複数の電話回線網から回線を選択する機能を持つ機能部である。

次に、第３図のフローチャートを参照して、上記ファクシミリ装置の機能ロック、およびロック解除の動作について説明する。

まず、ステップＳ１において、前記操作部５の登録モード設定キー５ｃを操作し登録モードに設定してから、登録すべき任意の暗証番号を同じ操作部５のテンキー５ａを操作することによって入力すると、その暗証番号は暗証番号記憶部５に記憶される。

この暗証番号の登録によって、次のステップＳ２では、ファクシミリ装置の各機能のうち、受信機能だけを預けてその他の送信機能や複写機能が動作不能のロック状態に設定される。受信機能は生かされているので、これ以後も送信されてくる図像データは受信され印字部７で適え付けの記録

7

8

用紙にプリントされて、第２図の記録紙排出部４から排出される。なお、このとき操作部７の表示ランプ５が点灯し、これによって受信機能を除く他の機能がロック状態に設定されていることが示される。

次のステップＳ３では、操作部５からの暗証番号の入力の有無が確認される。暗証番号の入力は、上述したように操作部５における入力モード設定キー５ｃを操作して入力モードに設定してから、テンキー５ａを操作することによって行われる。

ステップＳ３において暗証番号の入力が確認されない場合は、ステップＳ２において設定された機能ロック状態が維持される。

ステップＳ３において暗証番号の入力が確認されると、次のステップＳ４に処理が移行する。

このステップＳ４では、入力された暗証番号と登録済みの暗証番号とが照合される。この照合によって、２つの暗証番号が一致していないと

これに対して、２つの暗証番号が一致していると判定されると、次のステップＳ５に処理が移行し、ここで機能ロック状態は解除される。したがって、このとき送信機能や複写機能は動作可能となる。操作部５では表示ランプ５が点灯し、これによって機能ロック状態が解除されたことを知ることができる。

次のステップＳ６では、前記機能ロック解除の開始からいずれの機能が動作させられないまま予め定められた一定時間が経過したか、あるいはいずれかの機能が動作終了して予め定められた一定時間が経過したかの判定が行われる。一定時間が経過していれば、ステップＳ２に処理が戻って機能ロック状態に復帰し、表示ランプ５も再び点灯する。

一定時間が経過しない間に、登録解除の操作が行われると、次のステップＳ７でその確認が行われる。すなわち、この間に、操作部５の登録モー

特開平 4-15796

号と同じ暗証番号が入力されると、ステップS7においてその入力が暗証され、次のステップS9に処理が移行し、ここで暗証番号の登録は解除される。その結果、次のステップS9において機能ロック状態が解除される。

なお、ステップS6において、登録解除の入力が暗証されない場合には、ステップS2に処理が戻って、機能ロック状態が維持される。

なお、前記実施例では受信機能の他の全ての機能をロックするようにしたが、簡易機能のみをロックし、あるいは送信機能のみをロックするようにしても良い。

（発明の効果）

この発明のファクシミリ装置は、動作ロック手段を設けて、受信機能を全く一時的または全般的機能を動作不能状態にロックし、入力した暗証番号が登録済みの暗証番号と一致する場合のみロック解除するようにしたので、家庭などにおいて、子供の悪戯により間違えて送信したり、あるいは誤作機能を誤用として使用することなどが防止でき

るという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

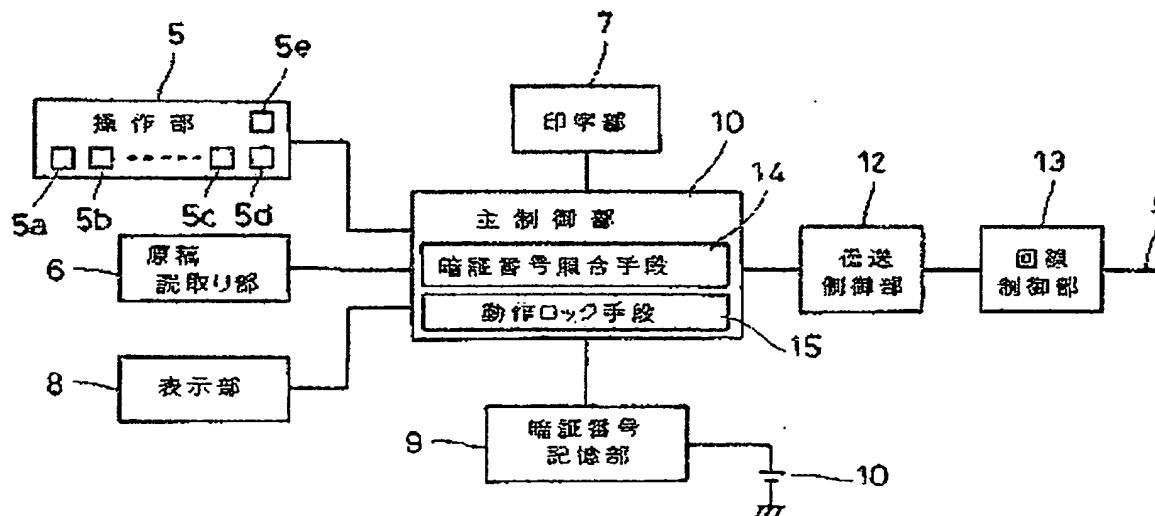
第1図はこの発明の一実施例であるファクシミリ装置の電気的構成を示すブロック図、第2図はそのファクシミリ装置本体を示す外観斜視図、第3図はそのファクシミリ装置における機能ロック・およびそのロック解除の動作を示すフローチャートである。

5…操作部、5a…テンキー（暗証番号入力手段）、5c…登録モード設定キー、5d…入力モード設定キー、6…原稿読取り部、8…表示部、9…暗証番号記憶部、10…動作ロック手段、11…動作ロック手段

特許出願人 村田機械株式会社
代理人 弁護士 野田雅士

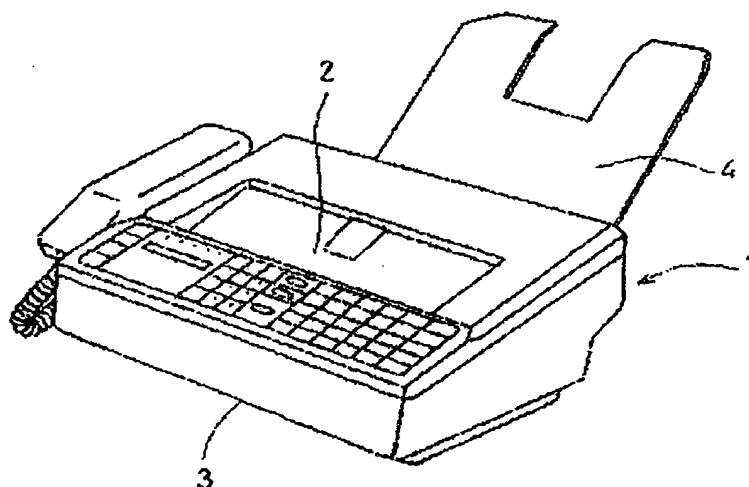


第 1 図

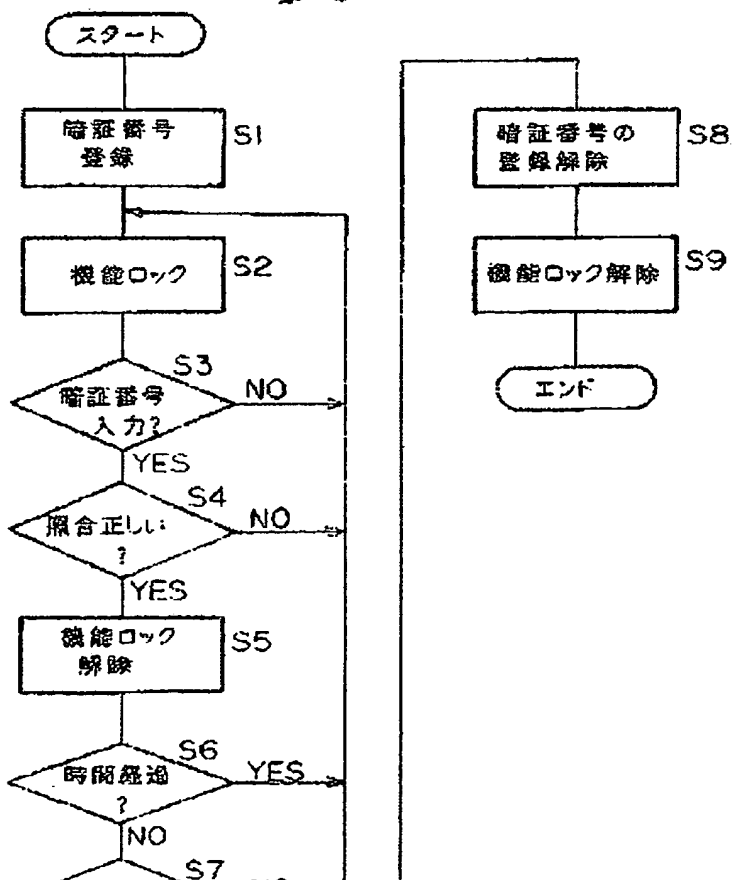


特開平 4-15796

第 2 図



第 3 図



特開平 4-15796

手 続 特 許 法 第 2 条

平成13年 2月 4日

特 許 庁 長 官 様

1. 事件の表示

平成2年 特 許 願 第284791号

2. 発明の名称

ファクシミリ装置

3. 修正をする者

事件との関係 特許代理人

住 所 京都市南区西九条五丁目3番地

名 称 (株)村田機械株式会社

4. 代理人

住 所 〒550 大阪市西区江戸堀2丁目3番1号

氏 名 (株)弁護士 野田 雅 士

5. 補正命令の日付

自 発 補 正

6. 補正の対象

明細書の「発明の要約な説明」の欄および図面

方 式 審 査



7. 補正の内容

(1)明細書第9頁第2行目、「操作部7」とあるを「操作部5」と訂正する。

(2)図面の第1図を別紙の通り訂正する（符号「10」を「11」と訂正）。

代理人 弁護士 野田雅士



第 1 図

